

KC大学組合 財務分析WG 「財務三表」分析結果 & 提言

2010年11月30日

大学組合 財務分析WG

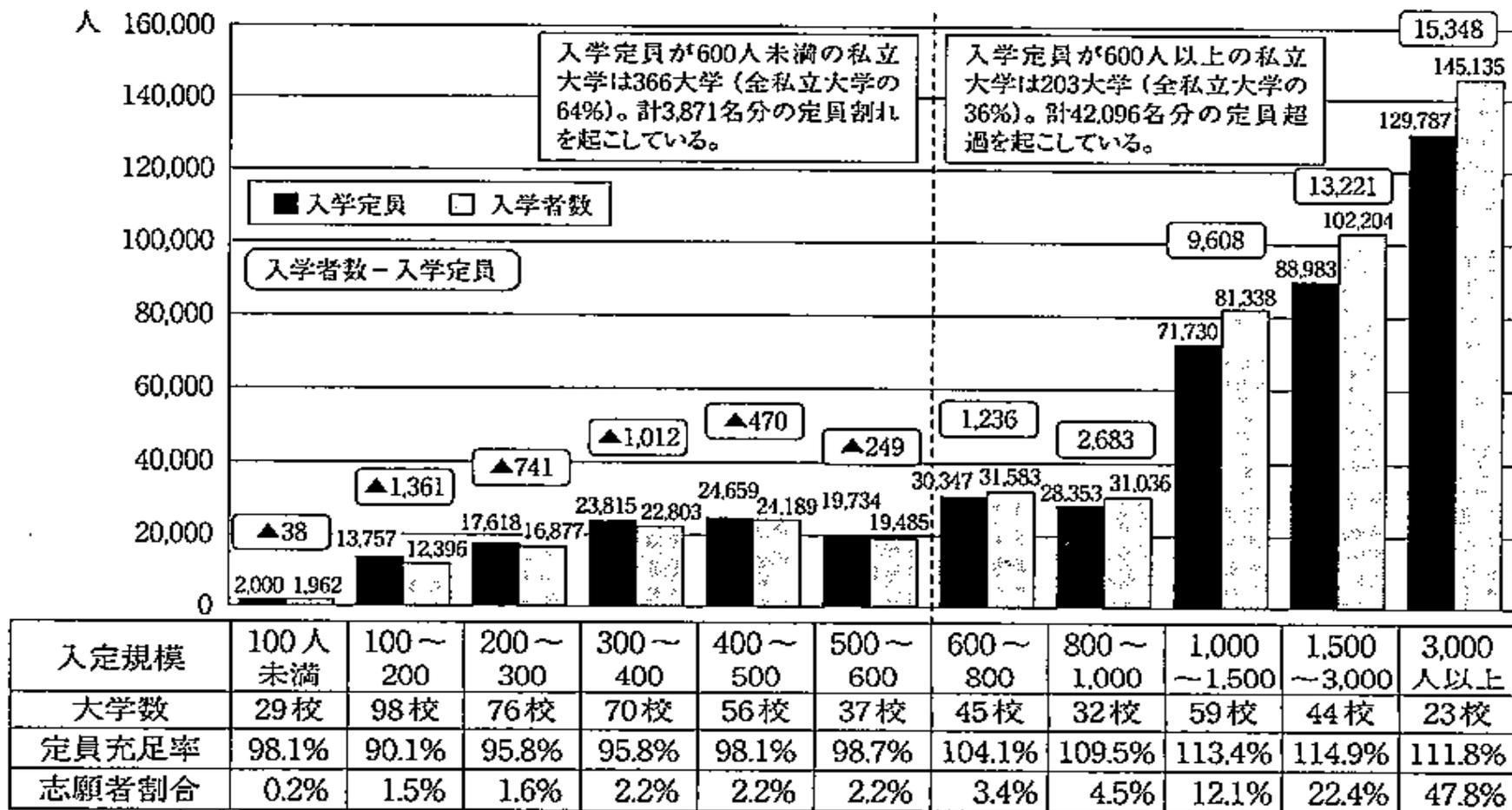
Agenda

1. はじめに
2. 重要用語解説
3. Summary まとめ & 提言
4. 財務三表分析
 - ① 貸借対照表 分析結果
 - ② 消費収支計算書 分析結果
 - ③ 資金収支計算書 分析結果
 - ④ 部門別(大学・中高部)分析 結果
5. 総評

1. はじめに

1. 私大経営の現状

図表2 規模別の入学定員充足状況(2010年度, 私立大学) (日本私立学校振興・共済事業団調べ)



1. 私大経営の課題

- 学校法人が経営困難となる原因
 - 教学面
 - 教学内容の魅力の低下
 - 改組転換などの失敗による学生数の減少(=学納金の減少)
 - 経営面
 - 過剰な設備投資による金融資産の減少と過大な借入金依存
 - 人件費・諸経費の硬直化による収支の逼迫
 - 不祥事や学内紛争によるマイナスイメージの発生
 - 不適切な資産運用による金融資産の毀損
 - 無為無策による停滞
 - 経営責任の欠如

1. 神戸女学院の現状

- 教学面
 - ▶ 教学内容 ?
 - ▶ 定員充足率 ◎
- 経営面
 - ▶ 金融資産の減少、毀損 ?
 - ▶ 借入金 ?
 - ▶ マイナスイメージ ×
 - ▶ 無為無策 ?
 - ▶ 経営責任 ?

1. WGのミッション

- 経営側は主として以下の3点を理由として、人件費削減は不可避であると主張してきた
 1. 歴史的(老朽化した)建造物が多く、近い将来に新改築の必要があるため、その原資を捻出する必要がある
 2. 人件費比率が同規模校と比較しても大きく、現在の経済状況に鑑みても妥当ではない
 3. 人勧準拠の必要性
- 過去10年分の財務三表を分析することによって、本学の財政状況は、本当に人件費の更なるカットを必要としているのかどうか、をチェック

2. 重要用語解説